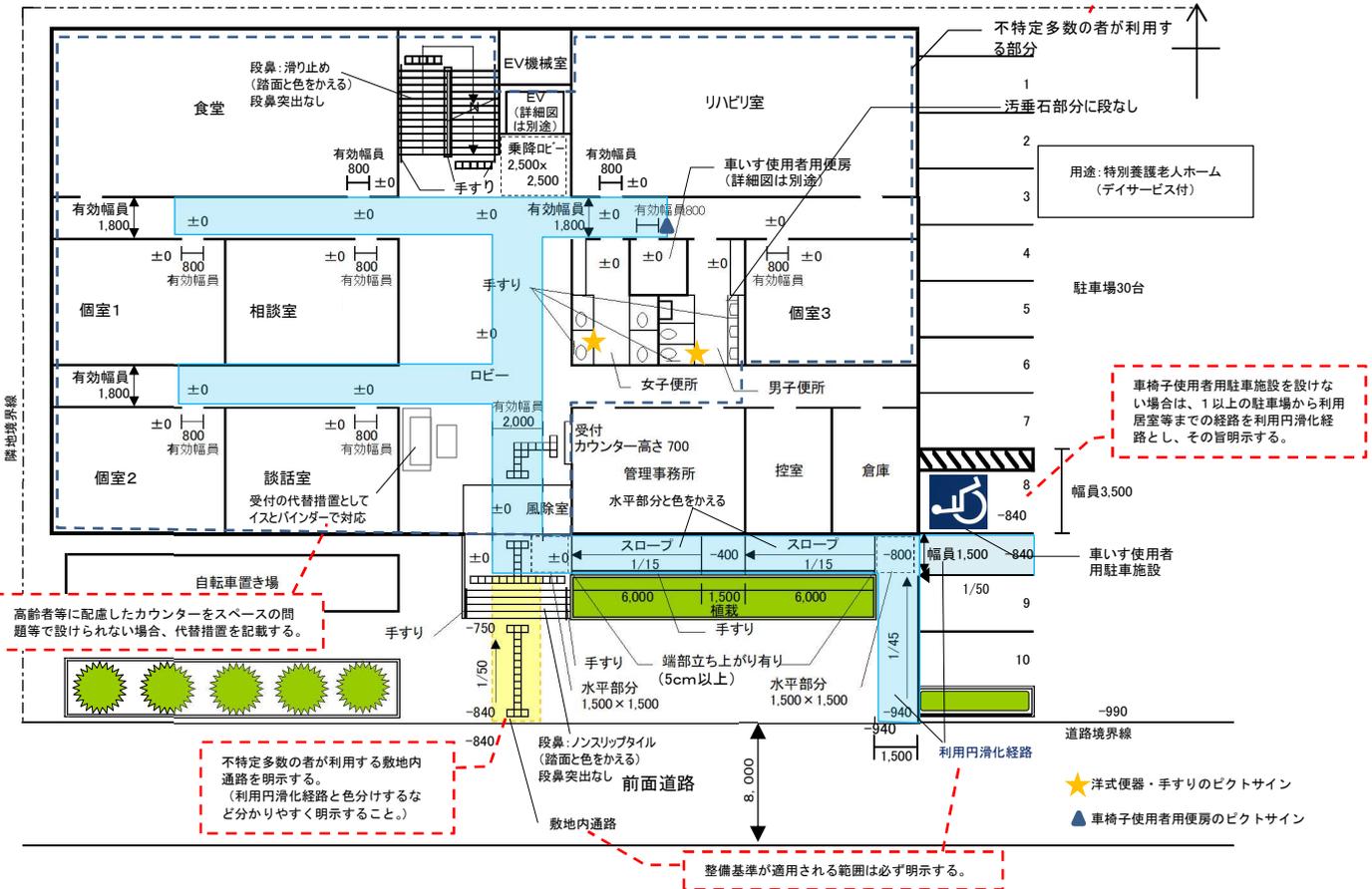


●配置図・平面図（建築物用）記入例

※適合状況項目表の整備の状況を図面に明示する。

整備基準が適用される範囲は必ず明示する。



●図面に明示する項目（建築物用）

	明示する項目（小規模特定施設は◎のみ） 規則第7条(1)項(ろ)欄による	適用になる整備基準に応じて明示する項目
付近見取図	◎方位 ◎道路及び目標となる地物	
配置図	◎縮尺、方位、敷地の境界線 ◎土地の高低 ◎敷地内における建築物等の位置及び用途 ○利用円滑化経路の位置 ◎敷地内の通路及び直接地上へ通ずる出入口の位置及び有効幅員 ○駐車場の区域及び駐車台数 ○車椅子使用者用駐車施設の位置及び有効幅員 ◎整備基準が適用される範囲（不特定多数の者又は主として高齢者、障害者等が利用する部分）	・舗装の種類別 ・排水溝の位置及び措置 ・段の手すり、段鼻の滑り止め、つまずき防止、色等識別 ・傾斜路の勾配、手すり、色等識別、転落防止の措置、有効幅員、踊場の踏幅、始点及び終点の水平な部分の長さ ・敷設する点状ブロック等及び視覚障害者利用円滑化経路の案内設備の位置 ・車椅子使用者用駐車施設の案内表示
建築物にあっては、各階平面図	◎縮尺、方位 ◎間取り、各室の用途 ○利用円滑化経路の位置 ◎廊下等及び出入口の位置及び有効幅員 ○階段及びエレベーターの位置 ◎床の高低 ○整備基準が適用される範囲（不特定多数の者又は主として高齢者、障害者等が利用する部分）	・床仕上げの種類別 ・排水溝の位置及び措置 ・段及び階段の手すり、段鼻の滑り止め、つまずき防止、色等識別 ・傾斜路の勾配、手すり、色等識別、転落防止の措置、有効幅員、踊場の踏幅、始点及び終点の水平な部分の長さ ・廊下幅員を緩和できる車椅子転回スペース(1400□) ・玄関、利用居室の有効幅員 ・便所の洋式便器・手すり・小便器用手すりの位置 ・車椅子使用者用便房・浴室の十分な空間(φ1500) ・オストメイト対応設備(水栓器具、汚物流し、トイレトペーパーホルダー、手荷物置き台及び鏡)の位置 ・車椅子使用者が利用できる客席の部分 ・敷設する点状ブロック等及び視覚障害者利用円滑化経路の案内設備の位置 ・標識の位置(洋式便器・手すり・乳幼児用椅子等、乳幼児用ベッド等・オストメイト対応設備・車椅子使用者用便房) ・カウンター等の位置及び措置
その他整備基準に係る整備計画を明示した図書		・エレベーター詳細図 ・便所詳細図、車椅子使用者用便房詳細図 ・階段詳細図

